



平成27年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成26年7月30日

上場会社名 川崎重工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7012 (URL <http://www.khi.co.jp/>)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村山 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森 亮二 TEL (03) 3435 - 2130
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日 ~ 平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	304,154	7.6	10,904	△34.9	6,694	△28.7	5,416	20.4
26年3月期第1四半期	282,509	△0.3	16,752	148.4	9,400	△19.8	4,496	△25.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 4,610百万円 (△72.1%) 26年3月期第1四半期 16,570百万円 (86.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	3.23	-
26年3月期第1四半期	2.68	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,570,651	370,760	22.7
26年3月期	1,554,430	376,686	23.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 357,329百万円 26年3月期 363,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		3.00	—	4.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	650,000	9.2	22,000	△18.0	17,000	△25.4	12,500	△3.8	7.47
通 期	1,490,000	7.5	73,000	0.8	66,000	8.9	42,500	10.0	25.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	1,671,892,659株	26年3月期	1,671,892,659株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	146,851株	26年3月期	141,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	1,671,747,545株	26年3月期1Q	1,671,787,906株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想と異なる結果となることがあります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年7月30日(水)に、カンファレンス・コール（電話会議）による機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算説明資料につきましては、決算発表と同時にT D n e t及び当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(2) 受注及び販売の状況	11
(3) 地域別売上高	12
(4) 平成27年3月期 連結業績見直し補足資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界経済は、米国経済の回復や欧州経済の持ち直し等、先進国を中心とした堅調な回復が新興国経済を下支えし、総じて緩やかに回復しています。今後、米国の金融緩和縮小による影響や、中国経済の先行き、及び地政学的リスク等による景気下振れリスクが依然として懸念されるものの、緩やかな成長が続いていくと期待されます。

一方国内経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受け、個人消費に弱い動きがみられたものの、各種財政・金融政策の効果による下支えを背景に回復基調が続いています。今後は、引き続き各種リスクへの留意が必要ではあるものの、雇用・所得環境の明確な改善による個人消費の持ち直し、堅調な内需、及び海外経済の成長を背景に緩やかな回復が続くと見込まれます。

このような経営環境の中で、当第1四半期における当社グループの受注高は、船舶海洋事業などで減少したものの、車両事業やプラント・環境事業などで増加した結果、全体では増加となりました。売上高については、船舶海洋事業やモーターサイクル&エンジン事業などで減収となったものの、航空宇宙事業やガスタービン・機械事業などで増収となったことにより、全体では増加しました。営業利益については、精密機械事業やガスタービン・機械事業などで増益となりましたが、船舶海洋事業やモーターサイクル&エンジン事業、車両事業などで悪化ないしは減益となり、全体では減益となりました。

この結果、当社グループの連結受注高は前年同期比507億円増の3,338億円、連結売上高は前年同期比216億円増収の3,041億円となりましたが、営業利益は受注工事損失引当金の戻入の影響が大きかった前年同期に比べ58億円減益の109億となりました。経常利益は為替差損の減少などがあったものの、営業利益の減少により前年同期比27億円減益の66億円となりました。四半期純利益は、税金費用の減少により前年同期比9億円増益の54億円となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結セグメント別業績の概要は以下のとおりです。

(単位：億円)

報告セグメント	当第1四半期 連結累計期間 (26年6月期)		前第1四半期 連結累計期間 (25年6月期)		増 減		(参考) 受注高		
	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益	当第1 四半期連結 累計期間	前第1 四半期連結 累計期間	増 減
船舶海洋	183	△4	210	33	△27	△37	145	271	△125
車両	304	0	305	19	△0	△18	674	350	323
航空宇宙	654	62	556	75	97	△12	419	415	4
ガスタービン ・機械	427	20	364	8	63	12	432	356	75
プラント・環境	210	△4	167	△6	43	1	352	166	186
モーターサイクル &エンジン (注) 2	648	2	674	24	△26	△22	648	674	△26
精密機械	306	28	251	15	55	12	317	298	18
その他	305	5	294	3	10	2	347	296	50
調整額	—	△3	—	△7	—	4	—	—	—
合 計	3,041	109	2,825	167	216	△58	3,338	2,831	507

(注) 1. 売上高は、外部顧客に対する売上高。

2. モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示している。

船舶海洋事業

連結受注高は、LPG運搬船1隻を受注したものの、LNG運搬船など2隻を受注した前年同期に比べ、125億円減の145億円となりました。

連結売上高は、LNG運搬船の建造量は増加したものの、ばら積み船などの建造量が減少し、前年同期に比べ27億円減収の183億円となりました。

営業損益は、売上高の減少などにより、受注工事損失引当金の戻入などがあった前年同期に比べ37億円悪化し、4億円の営業損失となりました。

車両事業

連結受注高は、シンガポールLand Transport Authority新線向け地下鉄電車などを受注した結果、前年同期に比べ323億円増の674億円となりました。

連結売上高は、海外向け売上が引き続き高い水準を維持したことなどにより、前年同期並みの304億円となりました。

営業利益は、利益率の低下などにより前年同期に比べ18億円減益の0億円となりました。

航空宇宙事業

連結受注高は、防衛省向けの受注が減少したものの、ボーイング社向け787分担製造品の受注が増加し、前年同期に比べ4億円増の419億円となりました。

連結売上高は、防衛省向け売上が前年同期並みを維持したことに加え、ボーイング社向け787分担製造品が増加したことなどにより、前年同期に比べ97億円増収の654億円となりました。

営業利益は、売上は増加したものの、受注工事損失引当金の戻入があった前年同期に比べ12億円減益の62億円となりました。

ガスタービン・機械事業

連結受注高は、航空エンジン分担製造品などの受注が増加し、前年同期に比べ75億円増の432億円となりました。

連結売上高は、航空エンジン分担製造品や水力機械などの増加により、前年同期に比べ63億円増収の427億円となりました。

営業利益は、売上の増加などにより前年同期に比べ12億円増益の20億円となりました。

プラント・環境事業

連結受注高は、土木機械や環境装置案件の受注が増加し、186億円増の352億円となりました。

連結売上高は、LNG貯槽案件や環境装置案件が増加したことなどにより、前年同期に比べ43億円増収の210億円となりました。

営業損益は、売上は増加したものの、前年同期並みの4億円の営業損失となりました。

モーターサイクル&エンジン事業

連結売上高は、インドネシア向けや欧州向け二輪車は増加したものの、米国向けやタイ向けが減少した結果、前年同期に比べ26億円減収の648億円となりました。

営業利益は、売上の減少などにより、前年同期に比べ22億円減益の2億円となりました。

精密機械事業

連結受注高は、国内の建機市場向け油圧機器などが増加した結果、前年同期に比べ18億円増の317億円となりました。

連結売上高は、国内の建機市場向け油圧機器の増加、自動車産業向けロボットの増加などにより、前年同期に比べ55億円増収の306億円となりました。

営業利益は、売上の増加などにより、前年同期に比べ12億円増益の28億円となりました。

その他事業

連結売上高は、前年同期比10億円増収の305億円となりました。

営業利益は、前年同期比2億円増益の5億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、手持ち工事の進捗に伴う棚卸資産の増加や設備投資による有形固定資産の増加などにより、前期末比162億円増の1兆5,706億円となりました。負債は、支払手形及び買掛金が減少したものの、コマーシャル・ペーパー等有利子負債の増加などにより、前期末比221億円増の1兆1,998億円となりました。有利子負債は、前期末比571億円増の5,017億円となりました。純資産は、配当金の支払などにより前期末比59億円減の3,707億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年度第2四半期連結累計期間の業績見通しにつきましては、持分法適用会社において比較的採算の良い案件が想定よりも上期に集中することにより持分法損益が好転することが見込まれるため、経常利益を前回(4月25日)公表値から30億円増の170億円に上方修正いたします。当期純利益については、経常利益の好転及び税効果の見直しを反映して、前回公表値から40億円増の125億円に上方修正いたします。

通期の業績見通しにつきましては、通年における持分法損益の変動は限定的であることから、経常利益は前回公表値を据え置きます。但し、当期純利益については、税効果の見直しにより前回公表値から15億円増の425億円となる見通しです。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1ドル=100円、1ユーロ=135円を前提としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算している。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示している。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,949	43,312
受取手形及び売掛金	415,664	388,318
商品及び製品	56,673	59,580
仕掛品	302,511	319,735
原材料及び貯蔵品	98,848	98,806
その他	87,211	110,191
貸倒引当金	△3,104	△2,934
流動資産合計	1,005,754	1,017,010
固定資産		
有形固定資産	383,912	388,567
無形固定資産	17,262	17,094
投資その他の資産		
その他	148,210	148,743
貸倒引当金	△710	△764
投資その他の資産合計	147,500	147,978
固定資産合計	548,675	553,640
資産合計	1,554,430	1,570,651
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,030	273,866
短期借入金	190,757	161,917
未払法人税等	10,100	3,277
賞与引当金	22,118	25,167
受注工事損失引当金	13,560	11,166
その他の引当金	10,535	10,194
前受金	137,598	156,516
その他	104,714	177,671
流動負債合計	795,415	819,776
固定負債		
社債	110,000	100,000
長期借入金	141,343	150,349
その他の引当金	4,064	3,616
退職給付に係る負債	97,048	95,979
その他	29,871	30,168
固定負債合計	382,328	380,114
負債合計	1,177,744	1,199,891

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,484	104,484
資本剰余金	54,393	54,393
利益剰余金	217,449	212,824
自己株式	△43	△45
株主資本合計	376,284	371,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,652	2,755
繰延ヘッジ損益	△3,803	△629
為替換算調整勘定	6,416	1,463
退職給付に係る調整累計額	△18,509	△17,915
その他の包括利益累計額合計	△13,243	△14,327
少数株主持分	13,645	13,430
純資産合計	376,686	370,760
負債純資産合計	1,554,430	1,570,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	282,509	304,154
売上原価	226,809	253,169
売上総利益	55,699	50,984
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	10,840	11,340
研究開発費	8,076	8,014
貸倒引当金繰入額	281	—
その他	19,750	20,725
販売費及び一般管理費合計	38,947	40,080
営業利益	16,752	10,904
営業外収益		
受取利息	252	116
受取配当金	216	130
持分法による投資利益	1,523	2,465
その他	627	1,012
営業外収益合計	2,619	3,724
営業外費用		
支払利息	1,030	990
為替差損	7,993	5,873
その他	947	1,069
営業外費用合計	9,971	7,933
経常利益	9,400	6,694
税金等調整前四半期純利益	9,400	6,694
法人税等	4,588	619
少数株主損益調整前四半期純利益	4,812	6,075
少数株主利益	315	658
四半期純利益	4,496	5,416

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,812	6,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	388	113
繰延ヘッジ損益	△182	3,209
為替換算調整勘定	6,630	△2,169
退職給付に係る調整額	245	409
持分法適用会社に対する持分相当額	4,675	△3,027
その他の包括利益合計	11,758	△1,464
四半期包括利益	16,570	4,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,736	4,332
少数株主に係る四半期包括利益	834	278

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	21,073	30,562	55,624	36,452	16,712	67,493	25,124	29,466	282,509	—	282,509
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	564	192	461	3,898	3,225	144	2,456	8,304	19,247	△19,247	—
計	21,638	30,754	56,086	40,350	19,937	67,637	27,580	37,771	301,756	△19,247	282,509
セグメント利益 又は損失(△)	3,381	1,910	7,551	844	△606	2,482	1,562	344	17,472	△719	16,752

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位: 百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	△58
全社費用(注)	△661
合計	△719

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	18,350	30,464	65,403	42,799	21,053	64,892	30,634	30,555	304,154	—	304,154
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	381	144	653	2,034	3,430	163	3,159	6,217	16,184	△16,184	—
計	18,732	30,609	66,056	44,834	24,483	65,056	33,793	36,772	320,339	△16,184	304,154
セグメント利益 又は損失(△)	△416	12	6,274	2,056	△425	263	2,850	590	11,205	△301	10,904

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	△71
全社費用(注)	△229
合計	△301

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△38,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,310	△11,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,128	49,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,142	40,033

(2) 受注および販売の状況

<受注高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前第1四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	27,185	9.6	14,586	4.3	117,872	8.0
車両	35,046	12.3	67,426	20.1	133,049	9.1
航空宇宙	41,567	14.6	41,983	12.5	286,383	19.6
ガスタービン・機械	35,685	12.6	43,261	12.9	222,013	15.2
プラント・環境	16,662	5.8	35,275	10.5	103,912	7.1
モーターサイクル&エンジン	67,493	23.8	64,892	19.4	322,248	22.1
精密機械	29,814	10.5	31,700	9.4	127,297	8.7
その他	29,686	10.4	34,736	10.4	142,684	9.8
合 計	283,143	100.0	333,863	100.0	1,455,462	100.0

(注) モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示している。

<売上高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前第1四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	21,073	7.4	18,350	6.0	80,863	5.8
車両	30,562	10.8	30,464	10.0	147,951	10.6
航空宇宙	55,624	19.6	65,403	21.5	280,737	20.2
ガスタービン・機械	36,452	12.9	42,799	14.0	189,241	13.6
プラント・環境	16,712	5.9	21,053	6.9	103,898	7.4
モーターサイクル&エンジン	67,493	23.8	64,892	21.3	322,248	23.2
精密機械	25,124	8.8	30,634	10.0	123,276	8.8
その他	29,466	10.4	30,555	10.0	137,264	9.9
合 計	282,509	100.0	304,154	100.0	1,385,482	100.0

<受注残高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成26年6月30日)		前第1四半期 連結会計期間末 (平成25年6月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	161,134	10.7	155,748	10.2	128,913	9.2
車両	364,654	24.3	396,986	26.1	374,856	26.8
航空宇宙	450,581	30.0	426,324	28.0	425,026	30.4
ガスタービン・機械	295,100	19.6	293,065	19.2	241,996	17.3
プラント・環境	170,737	11.3	184,831	12.1	169,743	12.1
モーターサイクル&エンジン	—	—	—	—	—	—
精密機械	25,821	1.7	26,887	1.7	26,491	1.9
その他	32,234	2.1	36,417	2.3	27,024	1.9
合 計	1,500,264	100.0	1,520,260	100.0	1,394,051	100.0

(3) 地域別売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
118,426	66,615	19,742	51,700	26,024	282,509
41.9%	23.5%	6.9%	18.3%	9.2%	100.0%

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
120,208	73,408	27,865	58,021	24,650	304,154
39.5%	24.1%	9.1%	19.0%	8.1%	100.0%

(4) 平成27年3月期 連結業績見通し補足資料

1. 全社見通し

(単位 億円)

	27年3月期見通し			26年3月期実績
	今回	4月25日見通し	増減	
売上高	14,900	14,900	—	13,854
営業利益	730	730	—	723
経常利益	660	660	—	606
当期純利益	425	410	15	386
受注高	15,900	15,800	100	14,554
ROIC(税引前)	8.6%	8.6%	—%	8.1%

(注) ・平成27年3月期見通し前提為替レート：100円/USD、135円/EUR

・ROIC(税引前) = (税引前利益 + 支払利息) ÷ 投下資本

2. 報告セグメント別見通し

(a) 売上損益

(単位 億円)

報告セグメント	27年3月期見通し						26年3月実績	
	今回		4月25日見通し		増減		売上高	営業損益
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益		
船舶海洋	850	0	850	0	—	—	808	△20
車両	1,350	60	1,350	60	—	—	1,479	75
航空宇宙	3,200	270	3,200	270	—	—	2,807	262
ガスタービン・機械	2,300	90	2,300	90	—	—	1,892	104
プラント・環境	1,200	60	1,200	60	—	—	1,038	63
モーターサイクル&エンジン	3,200	160	3,200	160	—	—	3,222	161
精密機械	1,400	120	1,400	120	—	—	1,232	104
その他	1,400	40	1,400	40	—	—	1,372	44
調整額		△70		△70		—		△72
合計	14,900	730	14,900	730	—	—	13,854	723

(b) 受注高

(単位 億円)

報告セグメント	27年3月期見通し			26年3月実績
	今回	4月25日見通し	増減	
船舶海洋	1,500	1,500	—	1,178
車両	1,800	1,800	—	1,330
航空宇宙	3,000	2,900	100	2,863
ガスタービン・機械	2,300	2,300	—	2,220
プラント・環境	1,300	1,300	—	1,039
モーターサイクル&エンジン	3,200	3,200	—	3,222
精密機械	1,400	1,400	—	1,272
その他	1,400	1,400	—	1,426
合計	15,900	15,800	100	14,554

(c) ROIC (税引前)

(単位 %)

報告セグメント	27年3月期見通し			26年3月期実績
	今回	4月25日見通し	増減	
船舶海洋	0.2	0.2	—	3.4
車両	7.9	7.9	—	10.2
航空宇宙	17.7	17.7	—	19.6
ガスタービン・機械	5.1	5.1	—	4.6
プラント・環境	13.5	13.5	—	14.9
モーターサイクル&エンジン	9.2	9.2	—	1.4
精密機械	16.8	16.8	—	17.5
合 計	8.6	8.6	—	8.1